



## 大石田地区 「虫送り」

年中行事「虫送り」は7月11日、大石田地区で行われました。この行事は農作物に害のある虫を追い払い、豊作を祈願するものです。地区の子どもたちが代々継承してきましたが、子どもが少なくなった現在では、他の地区の子どもたちや保護者の方々も参加しています。地区のさまざまな団体の皆さんが協力し、準備と当日の運営を行いました。子どもたちが提灯を手に行列を作り、掛け声をかけながら地区内を練り歩き最後に松明や提灯、虫かごなど行事道具を全て燃やしました。沿道ではこの日を楽しみにしていた地区の方々が見守っていました。大石田の皆さんが力を合わせて受け継いでいる虫送り、行事を守ること、地域の連帯感が生まれています。



## 「夕涼み会」



7月18日、三島保育所で「夕涼み会」が行われました。朝から雨が降り続いていましたが、みんなの願いが叶い、予定通り所庭で開催することができました。保護者の方々の協力により、竹を使った本格的な「流しそうめん」を行い、子どもたちは大喜び！今か今かと流れてくるのを待ちます。そうめんをすくうことに夢中になり、食べることも忘れてしまう子もいました。その他にもバーベキューなど堪能した後、火の神の登場でキャンプファイヤーを行い、燃える炎を囲み踊り、最後に花火を行いました。午後6時からの2時間、浴衣姿の子どもたちの笑い声が保育所に響き渡り、夏の思い出として、心に残ってくれたと思います。

## 福島県大沼郡三島町 みしままち



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



只見川第一鉄橋

## 8月

## 目次

- 2 三島保育所「夕涼み会」
- 3 副町長・教育長就任
- 4 TownNews みしまの出来事  
三島保育所七夕飾り作り／各地区で花植え作業／夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動／滝谷の若げえーが団結／「社会を明るくする運動」両沼地区研究集会／「社会を明るくする運動」啓発パレード・小中学校訪問／県立宮下病院等後援会総会総会／けん引式車いす補助装置寄附受納式
- 6 町民記者通信
- 7 「木」の大学講座行われる間方地区／和気あいあい「サロンないり（名入）あったかサロン（浅岐）合同社会見学」／夏バテ予防に焼き肉を食べよう／全国から延べ四百人のマニアが来訪／「川霧桜遊歩道の草刈り」早戸・滝原地区／プール壁画プロジェクト作業／「高清水・小山健康を守る会」の研修旅行
- 8 公民館だより
- 9 県民スポーツ両沼大会
- 10 民話・ほめ言葉
- 11 町長日記／診療日誌 他
- 12 第5回「撮」っておきのみしま町フォトコンテスト入賞作品

町の人口と世帯  
7月1日現在

| 人口 | 1,783 | -12 | 出生 | 1  |
|----|-------|-----|----|----|
| 男  | 866   | -2  | 死亡 | 4  |
| 女  | 917   | -10 | 転入 | 2  |
| 世帯 | 799   | -5  | 転出 | 11 |

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 副町長に

## 秦育雄氏が就任



6月定例議会において、副町長に秦育雄氏（大石田）が選任されました。同氏は、「平成18年3月まで町職員として町民に行政サービスを提供する側であり、役場退職後の9年3カ月間は町民としてサービスを受ける側でした。この双方の経験を活かし、矢澤町長が掲げる「町民目線の行政」・「町民が喜ぶ町づくり」に取り組み、矢澤町長が目指す「桐源郷・「地方創生のモデル」となる町づくりを皆さんと一緒にがんばりたい」と決意を述べられました。



## 教育長に

## 坂内洋二氏が就任



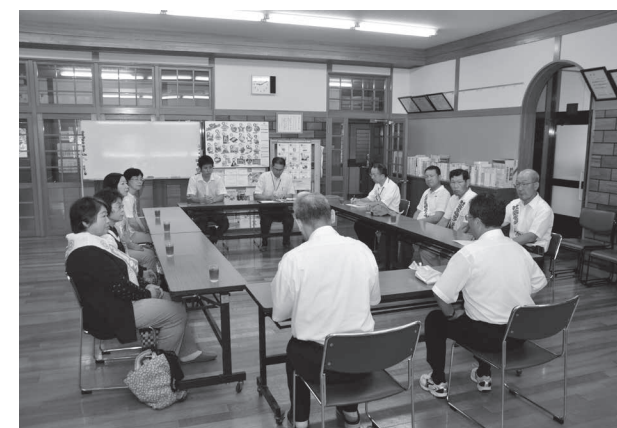
6月定例議会において、教育長に坂内洋二氏（西方）が選任されました。平成22年3月まで38年間教員に従事され、柳津小学校校長、三島小学校校長を歴任されました。平成27年4月からは三島町教育長職務代理者として勤務され、「7月1日から教育長に就任されました。教育行政を中心に腰を据えて仕事ができるようになり、着実に実務をこなしていきたい。矢澤町長の熱い想いに応えられるような仕事をしていきますので、皆さんのご協力をお願いします」と決意を述べられました。





## 「社会を明るくする運動」両沼地区研究集会

7月23日、第65回「社会を明るくする運動」両沼地区研究集会が交流センター山びこで、両沼6町村の保護司会・更生保護女性の会の関係者が集まり、開催されました。本研究集会は「地域住民の理解と協力により、犯罪・非行を防止し、罪を犯した人や非行に陥った少年の更正を支える」を目的としています。講演は2部構成により、西方西隆寺住職遠藤弘佳氏による「発達障害と避行」と、三島町文化財専門委員長角田伊一氏による「三島町の年中行事と地域、青少年との繋がり」が、それぞれ行われました。



## 「社会を明るくする運動」啓発パレード・小中学校訪問

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、同運動町推進委員会は7月10日、町内の啓発パレード・小中学校訪問活動を行いました。推進委員10人が参加し、町民センター前で出発式を行った後、啓発放送を行いながら町内を巡回。「一人一人が悪いことをしないように、地域の子ども・若者たちが非行に走ることをないように、明るく健康な生活を手助けできるよう、皆様のご理解ご協力をお願いします」と呼び掛けました。



## 県立宮下病院等後援会総会

県立宮下病院等後援会総会は7月9日、町民センターで行われ、約30人が出席しました。議事では、平成26年度事業報告・収支決算と平成27年度事業計画・収支予算が承認されました。総会后、県立宮下病院内科医長小山大輔先生による「貧血と診断されたら」と題した健康講演会が開かれました。



## けん引式車いす補助装置寄附受納式

車いすに「けん引バー」を取付け、人力車のように前輪を浮かせて引くことができる、「けん引式車いす補助装置」の寄贈が大和ハウス工業(株)渡辺靖彦福島支社長からあり、7月14日、受納式が行われました。車いすは後ろから押して移動するので、坂道等は力を入れなければなりませんが、この装置を使うことにより、少ない力で動かせることができます。

## 三島保育所で七夕飾り作り

三島保育所で7月7日、子どもたちが七夕飾りを作りました。ワンダークラブの子どもたちも参加し、願いごとを書いた短冊を竹につけました。願い事には将来の夢や、「跳び箱が跳べますように」といった、願いが込められていました。おりひめとひこぼしは無事天の川を渡り、出会えたようです。子どもたちの願いもきつかなうでしょう。



## 各地区で花植え作業

町内の国道沿いの花植え作業は、6月26日から27日にかけて行われました。町交通安全母の会や各地区のボランティアの皆さんが、県から配布されたマリーゴールドやサルビア、ベコニアなどの苗を植えました。この花植えは県のフラワーロード事業による委託を受けて毎年実施されているものです。

## 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の街頭キャンペーンは7月30日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通対策協議会、町交通安全協会、町交通安全母の会、会津坂下警察署などが参加し、通行するドライバーに、交通安全を呼びかける記念品を配りました。期間中だけの交通安全ではなく、いつも安全運転をお願いします。



## 滝谷の若げえてーが団結

滝谷地区の若者たちが一致団結し、8月13日に開催される「滝谷お盆櫓踊り」に向けて祭囃子の練習に励んでいます。昨年までは秋の豊年踊りで行われていましたが、今年は、「滝谷祭り実行委員会」を立ち上げ、お盆に帰省する方にも楽しく参加していただきたい想いと、宝くじ助成事業で祭り用備品整備が採択になったことにより、お披露目も含めた形で開催されます。





## 全国から延べ四百人のマニアが来訪

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）



三島町は国内でも数少ない珍チョウ、「キマダラルリツバメ」の豊産地といわれ、可憐で美しいその生態写真を撮影するために、今年も6月中旬から7月上旬の発生期に、遠くは神戸、名古屋、福井、北海道旭川など全国から愛好者、研究家、プロカメラマンなど延べ4百人あまりが訪れ、その神秘的な生態と美しさに堪能してお帰りになされました。生息地で保護活動や、観察会を行っている只見川自然誌研究会では、来年は来訪者の撮影した自慢の写真を町民にも披露してもらう写真展や撮影会なども計画しており、町の誇るべき天然記念物の啓蒙につとめたいと話しています。



## 「川霧桜遊歩道の草刈り」早戸・滝原地区

文・写真 町民記者 板橋 博さん（滝原）

6月21日、午前6時より早戸温泉つるの湯沿いの遊歩道の草刈り作業を、早戸・滝原地区合同のボランティア総勢18名で行いました。作業時間は1時間程度でありましたが、効率よく広範囲の草刈りができ、大変綺麗になりました。今後も皆さんのご協力を頂き、良い景観づくりに努めていければと思います。



## プール壁画プロジェクト作業

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



7月13日、三島小学校6年生の児童がプール壁画の作成を行いました。今回5年生は田んぼの学校と重なり、6年生のみとなりました。半澤政人先生の指導や宮下地区の皆さんの協力のもと、壁画作成に汗を流しました。最後に、完成した壁画の前で6年生全員で記念写真をとりました。



## 「高清水・小山健康を守る会」の研修旅行

文・写真 町民記者 菅家 敏一さん（高清水）

6月28日、総勢17名で熱塩温泉に出かけました。第1部では芝居と歌謡の出し物を2時間ほど堪能しましたが、特に芝居は涙を誘い皆が本当によかったと満足してくれました。年代も高くなりましたが、第2部の宴会では日頃の疲れを吹き飛ばそうと、それぞれに持ち歌を元気一杯に発表し、唄う姿や声は年齢を感じさせません。大変な盛り上がりで、時間が足りないほどでしたが再会を約束し帰路につきました。



## 「木」の大学講座行われる間方地区

文・写真 町民記者 菅家 壽一さん（間方）



6月27日・28日の両日、山と木の集い実行委員会の主催による、「木」の大学講座（樹木と人間・動物とのかかわり）が行われました。県内外から、「木」に感心のある方々約30名が参加し、1日目は、山びこにおいて座学、2日目は、間方地区の大辺山山麓において、フィールドワークが行われ、「ブナ平」及び「かしや猫トレッキングロード」を案内しました。大辺山国有林内は、ブナ・トチ・サワグルミ・ハリギリ・ミズメ・ダケカンバ・イタヤカエデ・オオノキ・キハダ等の巨木、コシアブラ・オヒョウ・ハウチワカエデ・ハクウンボク・ミズキ等の中高木、アブラチャン・ウリハダカエデ・エゾユズリハ・オオバクロモジ等の中低木の宝庫です。また、講師の方からは、野鳥の生息が豊かであるとのことでした。間方地区活性化事業「美女帰の里まがた」では、地区活性化のため、全シーズンを通して地区内の森林や歴史街道美女峠等の案内要請を受け入れています。



## 和気あいあい「サロンないり（名入）あったかサロン（浅岐）合同社会見学」

文・写真 町民記者 五十嵐公男さん（名入）

7月9日、あったかサロン（浅岐地区13名）と、サロンないり（名入地区7名）の皆様による合同社会見学会が行われました。会津西方駅、午前8時に合流した後、一路SOWA美術館（トリックアート美術館）へと向かいました。この美術館は、遠近法を駆使して、平面の作品を立体的に描く技法を用いており、先入観と視覚効果で、皆さん騙されながらも感動しておりました。その後、寺泊で食事した後、金物で有名な燕三条のアウトレットショップ「ストックバスターズ」、新津フラワーランドと見学しましたが、帰りのバスの中は、大きな買い物袋があちこちに。「あったかサロン」の皆様、あっという間の一日でしたが大変お世話になりました。



掲載の写真は、SOWA美術館入口の階段ではなく、外壁に描かれた二次元（平面）の絵です



## 夏バテ予防に焼き肉を食べよう

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん（早戸）



7月18日、午後4時から、早戸生活改善センターで、焼き肉を食べる会がありました。早戸地区内で地区のひと達が集まってバーベキューをすることは珍しく、直ぐに近くのひと達が集まりました。この会は、同地区の高枝佳男さんと五十嵐登美雄さんの、路上での立ち話から始まりました。2人が主に、食材の買い出しを行ない、バーベキュー用の器具を用意しました。食材の費用は、参加人数で等分に割ることにしました。同地区に来年から定住予定の橋本光五郎さんご家族も参加しました。調子が悪くて何年も使用していない生活改善センターのカラオケ機材を、橋本さんがその場で調整し音楽を流すと、歌を歌うひとまで出てきました。急に決まった会なので、今回は居平地区だけでしたが、「これからも、気兼ねすることなく気軽に集まれたらいいね」と参加者みんなが話していました。



# みんなの公民館



●三島町公民館  
☎(48) 5599

## ●歴史を物語る文化財の パトロールを実施

町指定文化財パトロー  
ルは7月3日に実施さ  
れ、文化財専門委員と教  
育委員会職員が、町内の  
文化財の状況を確認して  
回りました。西隆寺(西  
方)の「木造聖徳太子立  
像」や、名人の観音堂に  
安置された「木造持国天  
立像」、「荒屋敷遺跡出  
土品」など、有形文化財  
の保存状況を確認したほ



町指定天然記念物「大石田のおなかなし」

か、「大石田のおなかな  
し」や「川井の大けやき」  
など、天然記念物の状況  
も見て回りました。また  
老朽化が見られる表示看  
板なども調査しました。  
町民の皆さんになじみ  
深いものとしては、国指  
定重要無形民俗文化財  
「三島のサイノカミ」が  
ありますが、そのほかに  
も多くの文化財が身近な  
場所にあり、その一つ一  
つが地域の歴史を物語る  
宝物です。



佐藤朋義さんの話を聞く中学生たち

## ●三島中生徒が佐藤朋義 さんの絵画展を見学

三島中の生徒たちは、  
交流センター山びこで開  
催された佐藤朋義さん  
(宮下)の「日本画と切  
り絵展」を見学しました。  
佐藤さんから、絵の技法  
や作品に込めた思いにつ  
いて聞きました。  
交流センター山びこで  
は、町民や町に縁のある  
方の作品展を開催してき  
ており、9月には齋藤茂  
樹さん(宮下)の写真展  
を予定しております。

## ●夏休み特別教室「紙 コップの風車作り」

公民館の夏休み特別教  
室は7月29日に行われ、  
小学生12人が参加しまし  
た。二瓶厚さん(名人)  
に習い、紙コップの風車  
を作りました。紙コップ  
に切り込みを入れ、空気  
が入るように細工しまし  
た。風を送るとくるくる  
と回り、子どもたちは風  
の力の面白さを感じてい  
ました。



二瓶厚さんに習い風車を作る子どもたち

## ●Book Review



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日祝 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



オリジナルアルバムと  
かわいいカード  
片柳頼子 監修  
緑書房

親子で作るアルバムやカードの作品集。  
材料や作り方が分かりやすく掲載されてい  
ます。親子や友達の思い出づくりに役立つ  
一冊です。



食材&食べ合わせ  
まるわかりBOOK  
小池澄子 監修  
メイツ出版

体調が悪いときに何を食べたらよいか、  
食べ物によってどんな効果があるのかな  
ど、食材のすごい力が分かります。



マザリンの  
宝石事件  
コナン・ドイル 作  
岩崎書店

ホームズは総理大臣から、盗まれた王室  
のダイヤモンド「マザリンの宝石」を取り  
戻してほしいと依頼された。シルビアス伯  
爵が犯人なのだが―。

# 県民スポーツ大会

## ◎両沼大会

家庭バレーボール競技で優勝  
テニス競技で3位

第68回福島県総合体育大会  
県民スポーツ両沼大会は7月  
5日、柳津町で開催されまし  
た。(財)福島県体育協会・県教  
育委員会と、両沼地区体育協  
会連合会・両沼地区教育委員  
会連絡協議会などの主催。6  
種目の競技に7町村から45  
チームが参加し、熱戦を繰り  
広げました。



両沼大会で優勝した三島パープルレディーズの皆さん



3位に貢献した菅家美紀さん(間方)・  
本名弘美さん(中平) ペア



力投する飯塚英人さん(西方)と  
守る三島ナイン

## ◎会津大会

家庭バレーボール競技で準優勝  
テニス競技で3位

第68回福島県総合体育大会県民スポーツ会津地域大会は8月2日、会  
津坂下町と柳津町で開催され、当町は家庭バレーボール、テニス競技で  
両沼大会を勝ち上がったの出場。このうち家庭バレーボールに出場した  
三島パープルレディーズは、会津若松市の「日新」との決勝戦でフルセッ  
トの激戦の末、惜しくも敗れ、準優勝となりました。  
テニス(団体戦)では、各方部の代表5チームによるリーグ戦を行い、  
三島チームが3位と健闘しました。



順当に勝ち上がったが、決勝では、日新(会津若松市)に惜しくも敗れ  
準優勝となった。



3位に貢献した佐久間裕美さん・若林裕美さん(いづ  
れも中平) ペア



板橋康宏さん(中平)の  
強烈なサーブ



# 民話



第53話

## 舌切りすずめ

元話 杉本 ミツエさん（松原）  
再話 五十嵐 七 重さん（西方）

むかし あったあどお。じい様とばあ様やったどお。じい様はすずめ めっけで来てめごがってやっただ。

ある時 ばあ様洗濯して布張りしんべどして、のりこしゃって糊つけつけ板張りしてだど。したら、すずめがペチャペチャ糊なめでしょうねえだど。「この野郎めえ 大事な糊 あらがだなめっちゃまって」ちゅうど すずめの舌切っておつ放したど。じい様山がらもどって「何だどまあゝむぞうせえ事してえ、なんぼう切ながったべえ」ちゅうどすずめさがしに出掛けだど。あっちこっちさがしてたら、川で馬洗ってる人いだど。

「馬洗いさん 馬洗いさん こつちさすずめ来ながったがよ？」つたら「この 洗い水三杯のんだら 教えますべえ」つうごんで 三杯のんだど「川上の方さ 行つたわあ」ずーと行つてみたら 木切りしてる人いただど「樵さん 樵さん この辺 すずめ通んねがったべが？」つたら「このやぶ くぐって あっちの方さ行つてみろつせ」って教えらつちえ やぶくぐってつたら

「つん つん つん つん」音すんだど。見つと あのですずめも他のすずめもいっぺえ いただどお

「じい様 よぐ来たなあ。 おれが悪かつたあ。 ばあ様の糊なめっちゃまった」そう言うどじい様さ、山のようなごつおしてくつちえ

「土産はどつちが良い？」なんて でっかい箱どちっちゃい箱見せだど

「おらあ 年寄つたがら 軽いがな良いなあ」つたら、すずめはちっちゃい箱さ軽い礼なつ まあ お金だな。 いっぺえ入つちえくつちやど。

じい様 家さもどつてしゃべつたら、ばあ様好ましがって

「そんじやら おれも 行つてみべえ」出掛けでつて

「すずめ すずめ おれは まあだ若えがら、重いがな良いなあ」つたど

「はい はい これ持つてがっしえ」

背負わさつちやがな 重だくて 重だくて 途中でおろしてみたらば、瀬戸っかげらや ゴミやら、おつかねえがななんぞ いっぺえヤキヤキ出てきて、ばあ様は、やつとごすつとご逃げてきただどお。

ざつと昔 さげえました

## ほめ言葉

### めでたい たいづくし

久保田 政 信さん（間方）

◎ めでたい めでたい おんめでたい たいたいづくしで ほめましよう

お子ども衆の そのたいは 飲みたい 食いたい 遊びたい お若い衆の そのたいは 見たい 会いたい してみたい この家の主の そのたいは 夫婦なかよく やらせたい

### 大黒様の数えうた

阿部 マサエさん（松原）

◎ 大黒様という神は

一に 俵を ふんまえて  
二に にっこり わくらつて  
三に 盃 手をとりて  
四つ 世の中 良いように  
五つ いつでも良いように  
六つは 無病息災に  
七つ 何事もないように  
八つ 屋敷を平らめて  
九つ お蔵を おったてて  
十に とつくり 納まつた

No. 1



## 町長日記

### ～不易流行～

この職に就かせて頂き、2ヶ月が過ぎました。各種団体の総会やら陳情やら会議等々で町内にいる時間が少なかったように思います。しかし時間を見つけ、三谷方面やら西方方面に出かけ田んぼの生育状況を見たり、林道や町道の路面状況を視察に行ったりしています。今後も時間を見つけ町内を歩き回りたいと考えています。どこかで私を見たら声をおかけください。

「地方創生計画」や「町振興計画」の樹立の年度であります。座談会等で、多くの町民の皆さんの声を聞きながら、また、声なき声を感じしながら、実現可能な政策形成を図って参りたいと考えています。

もうすぐ、お盆です三島町も普段の3倍程の人口になり、「大勢の帰省者」で賑います。帰省者の心の風景は、常に三島町です。この風景を大事にしながら、先人の残した町づくりを基本として、桐に桐の文化を継いでいく町政の展開を図ってまいります。



## 診療日誌

宮下病院長 浅野 宏

本年4月1日より、宮下病院に赴任し外科外来の診療を担当しています。けが、打ち身、ねんざ、やけどなどの外傷、できもの、腫れものなどの体表の疾患、鼠径（そけい）ヘルニアや肛門疾患などを主に診察しています。外傷はもちろん、外科で診察を受けたいと思つていことがあれば、どのようなことでも結構ですのでご相談ください。ところで、この3カ月間で転倒による外傷の方が数名受診していますが、65歳以上の日本人の約3分の1の人が、1年間に一度は転倒するというデータがあります。転倒して骨折すると、再び転ぶことを恐れてその後の日常生活能力が低下することがあり、このことが寝たきりや痴呆の誘因にもなります。転倒しやすい場所は屋内では居間が一番多く、敷居やわずかな段差につまずいたり、じゅうたんや座布団、スリッパに足を滑らせたりして転倒することが多いようです。段差をなくす工夫をしたり、段差のあるところは明るくしたりするなどの家庭内環境を整え、また散歩などをして足腰を鍛えて転倒に注意しましょう。



役場町民課勤務  
管理栄養士

長谷川 円

（はせがわ まどか）

7月より役場町民課で勤務しています管理栄養士の長谷川円です。会津美里町出身で、大阪の専門学校へ2年間通い、卒業後は東京で働いていました。小さい頃に間方地区に住んでいた祖母の所へ遊びに行きましたが、三島のことは知らないことばかりなので、学びながら町民の皆さんと交流したいと思います。皆さんが元気で過ごせるようお手伝いさせて頂きますので、よろしくお願いします。

ご寄附  
ありがとうございました  
町社会福祉協議会へのご寄附  
（ご遺志によるもの）

小平 和広 様（西方）  
角田 一郎 様（早戸）

一般のご寄附

三島町グラウンドゴルフ倶楽部 様

ご寄附  
ありがとうございました  
ふるさと納税（町へのご寄附）  
栗城 嘉昭 様（会津若松市）

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン

8月11日㊤ 10:00～ 浅岐集会所

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

## 8月の納税

納期限 8月31日

▶町県民税（普通徴収）

第2期

▶後期高齢者保険料（普通徴収）

第1期

忘れずに納付ください。

役場 町民課



# 第5回

## 「撮」っておきのみしま町

### フォトコンテスト入賞作品

7月18日(土)～8月23日(日)まで

応募作品を展示します。



【三島町長賞】「田植えのころ」 美濃部 有さん(千葉県)



【三島町教育委員会教育長賞】

「たんばあそび」

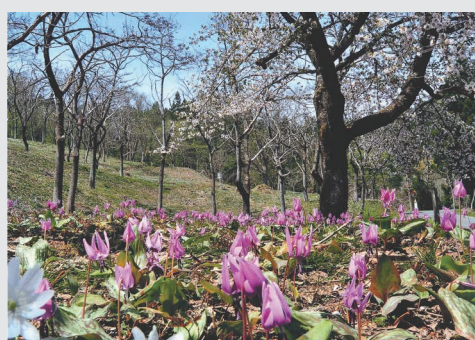
館 美里さん(三島町)



【写団道奥21会長賞】

「虹」

鹿狹 毅さん(三島町)



【交流センター山びこ賞】

「山里に咲く」

木島 厚さん(埼玉県)



【交流センター山びこ賞】

「Sunrise」

志賀 薫さん(三島町)

第5回「撮」っておきのみしま町フォトコンテストの審査が7月7日、交流センター山びこで行われ、三島町長賞など入賞作品5点が選ばれました。コンテストには59人から128点の応募がありました。

応募作品は全て、交流センター山びこで展示しますので「とおきの三島町」をぜひご覧ください。

なお、来場者投票にて決定する「特別賞」は、8月下旬頃発表します。皆様もぜひ来場者投票をお願いします。

問 交流センター山びこ ☎(52)2165